

IVIプラットフォーム 2016年度募集案内

2016年9月

インダストリアル・バリューチェーン・
イニシアティブ

なぜプラットフォームなのか？

モノからコトへ、ものづくりを担う製造業全体がサービス化されていくことが予想されるなかで、これまでの技術やノウハウは、よりオープンな形でデジタル化され、プラットフォーム上で流通する世界がやってきます。単に便利だから利用するという立場ではなく、製造業は、プラットフォームそのものの構造を理解し、自分にあった方式に変えていかなければなりません。IVIでは、製造業の製造業のためのプラットフォームを設計し、IT企業とも協力しながら日本発のプラットフォームの活動を支援するとともに、さまざまな業務シナリオが、よりスピーディーに、低コストで実現できるような環境を整えます。

プラットフォームという用語の整理

【定義1】 鉄道のホームや自動車の車台などハードウェア的な共通基盤

【定義2】 コンピュータのOSやミドルウェアなどの中立的な実行環境

【定義3】 クラウド上で行うさまざまな処理を統合的に管理するしくみ

【定義4】 異なる業務やシステム間でデータを相互利用するためのしくみ

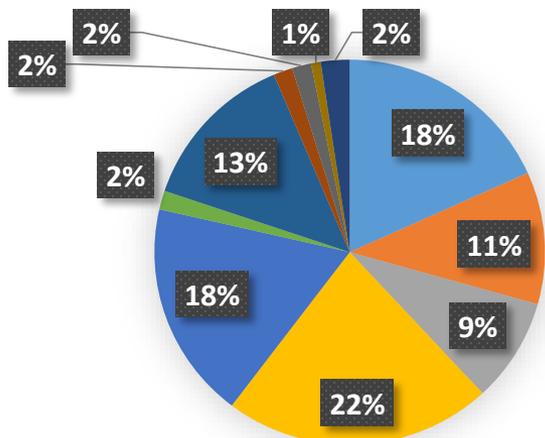
【定義5】 関係する一連のサービスをワンストップで利用できるしくみ

【定義6】 組織や企業がお互いの利害関係を超えて協調するための枠組み

プラットフォームビジネスへの転換

プラットフォームビジネスの担い手は？

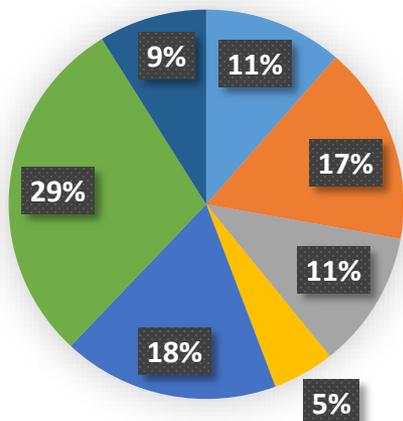
IVIプラットフォーム調査(速報)より



- データセンタやクラウドなどのインフラをもつ企業
- セキュアな通信ネットワーク技術をもったIT企業
- クラウド上でソフトウェア流通を手掛けている企業
- 製造業向けソフトウェアのデファクトをもった企業
- システム間連携などインテグレーション技術が強い企業
- 製造受託サービスを手掛けるグローバル企業
- 製造装置や工作機械を扱うグローバル企業
- 流通、物流のインフラをもったサービス企業
- 製造業に強い顧客基盤をもった企業
- 地域に密着したサービス企業
- その他

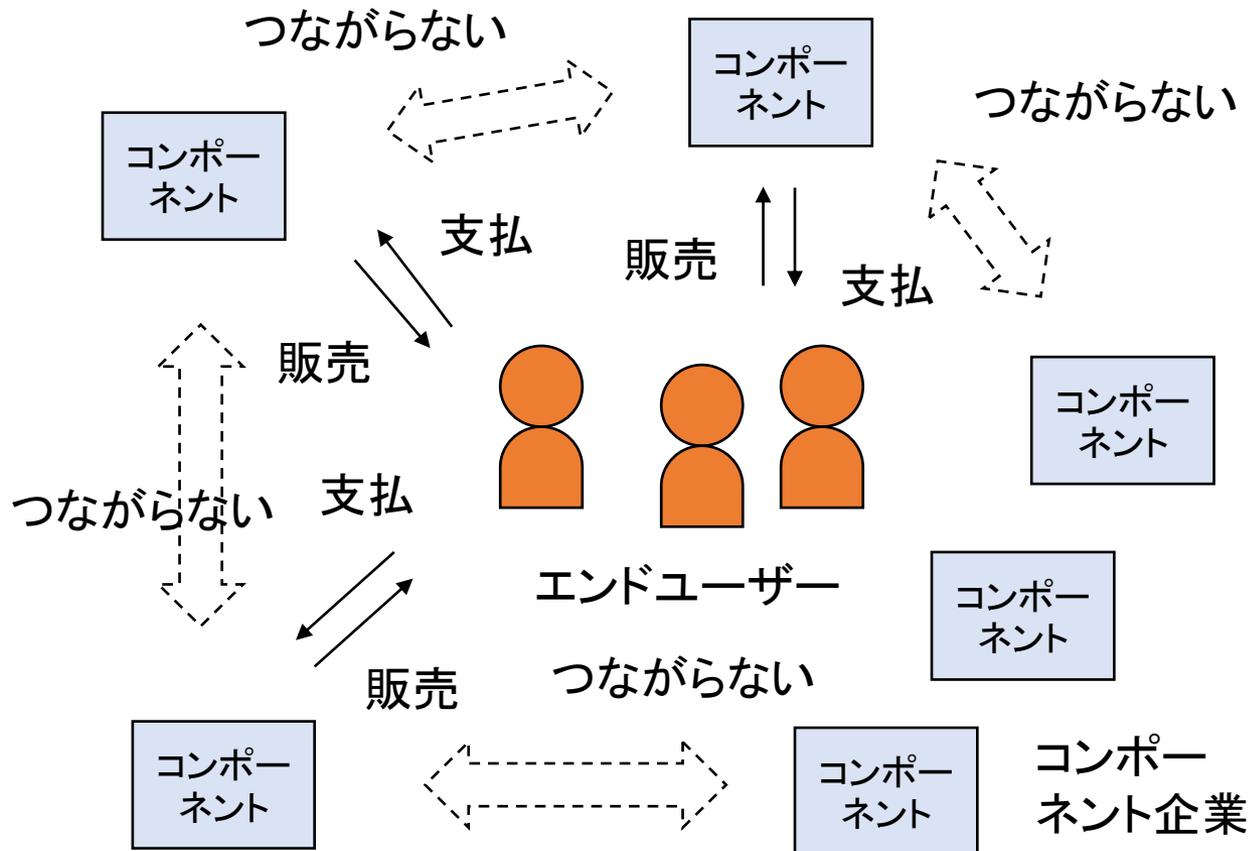
62%の企業です
でにビジネスが
はじまっている！

社内のプラットフォームビジネスの現状は？

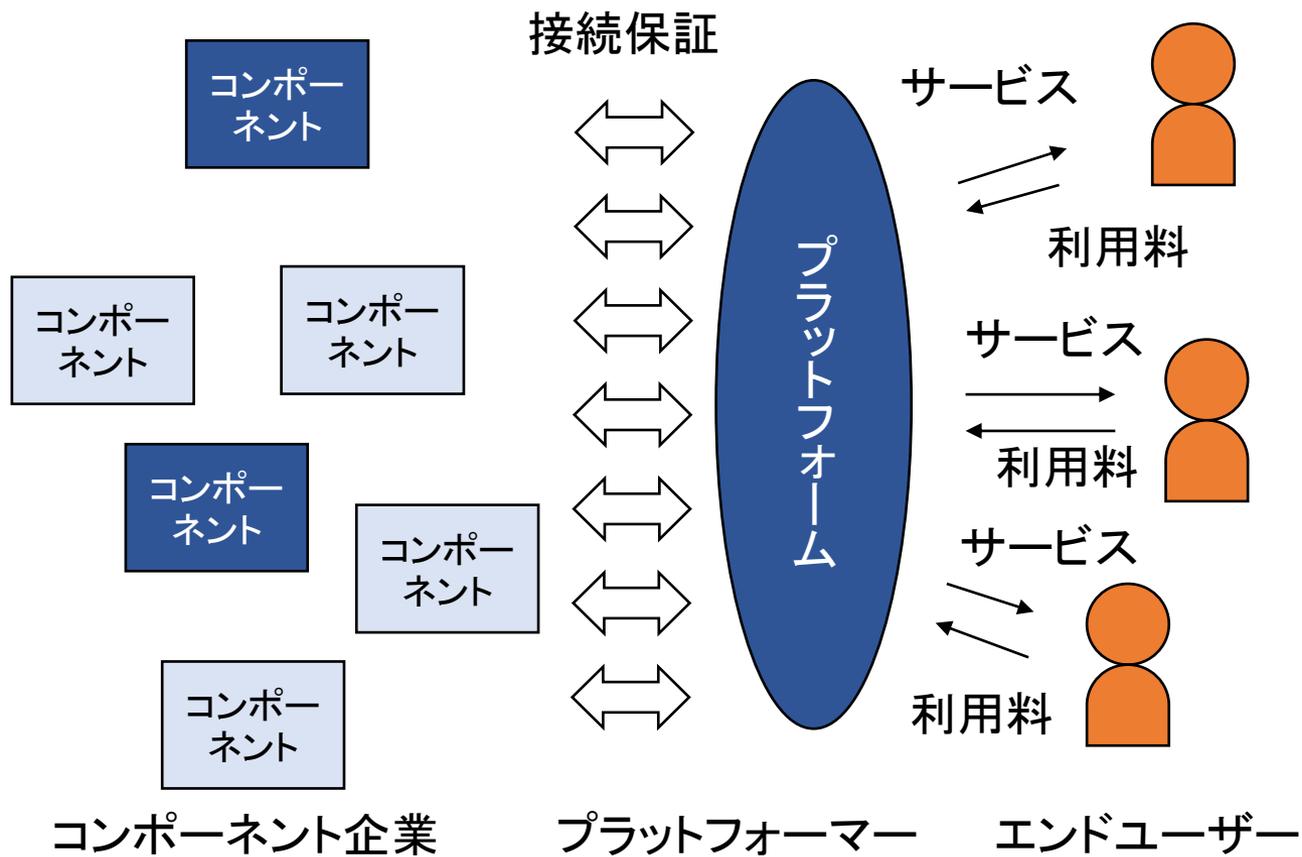


- プラットフォームという名称を含む製品またはサービスがある。(注1)
- プラットフォームに相当する製品またはサービスがある。(注1)
- プラットフォームという名称を含む組織または活動がある。(注2)
- プラットフォームという名称を含む外部の組織や活動に参加している。(注2)
- プラットフォームに関する新たなビジネスを企画、検討する部署がある。
- プラットフォームという名称を一般名詞として社内によく用いている。
- プラットフォームという用語を実際のビジネスの場で聞くことは少ない。

従来のビジネスモデル



新しいビジネスモデル



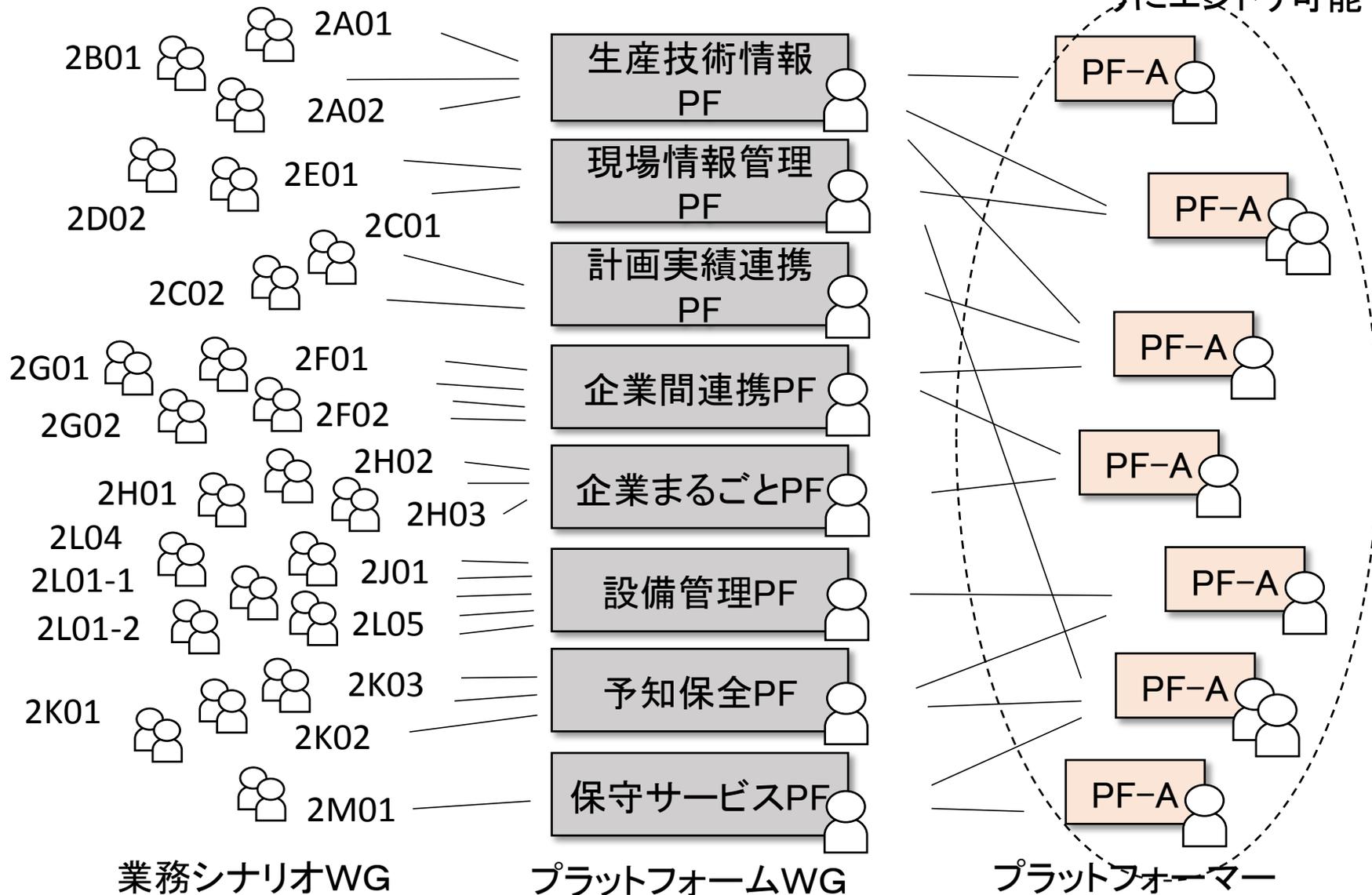
IVIプラットフォームの特徴

IVIプラットフォームとは、IVIが提唱する「つながる工場」のためのしくみであって、インフラ、アプリ、デバイス、ツールといった複数のコンポーネントによって構成され、それらのハードウェアおよびソフトウェアを相互に連携させることで価値を提供するしくみをいう。

- ✓ものづくりを実践する企業にとっての価値を最大化することを第一の目的とする
- ✓構成するコンポーネントについて、オープンな仕様にもとづくエコシステムとする。
- ✓企業データの所有者は企業自身とし、ボトムアップなしくみづくりを可能とする。

IVIの8つのPFカテゴリ

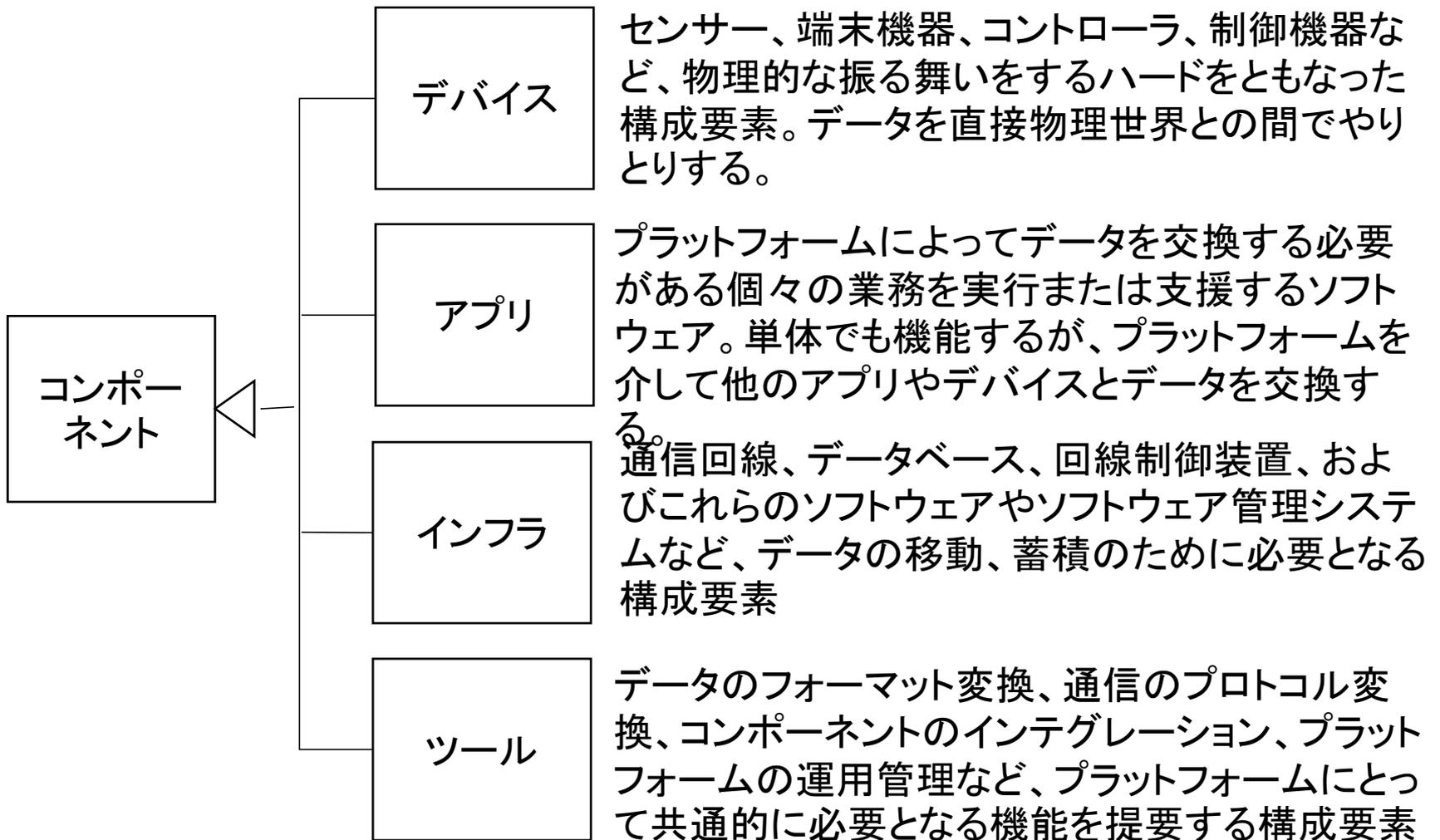
プラットフォームは
最大3つのカテゴリ
にエントリー可能



プラットフォームカテゴリ

記号	PF(プラットフォーム)名	説明
P01	生産技術情報PF	設計情報から生産ラインの構成を検討し、試作から量産までのプロセスに至る技術データを扱うPF
P02	現場情報管理PF	生産現場で得られる品質データ、技能データ、稼働データをもとにQCDを日々改善するためのPF
P03	計画実績連携PF	生産ラインにおいて工程進捗を管理し、計画変更や仕様変更や現場の状況に応じてダイナミックに対応するためのPF
P04	企業間連携PF	企業間のサプライチェーンやエンジニアリングチェーンに必要なデータをセキュアに交換するためのPF
P05	企業まるごとPF	中小企業向けに、「売り」「買い」「作り」がつながり、生産管理に必要な機能をコンパクトにまとめたPF
P06	予知保全PF	故障予知のために必要な関連データを、メーカーやサイトを超えて管理し、必要な対策をとるためのPF
P07	設備管理PF	設備の稼働データを活用し、総合設備効率を向上するとともに生産管理や品質管理ともつなげるためのPF
P08	保守サービスPF	販売した製品の利用状況をモニタリングし、故障時のサポートや予備品などを共同で行うためのPF

コンポーネントの種類



リファレンスモデルとプロファイル

PFリファレンスモデル

カテゴリ01

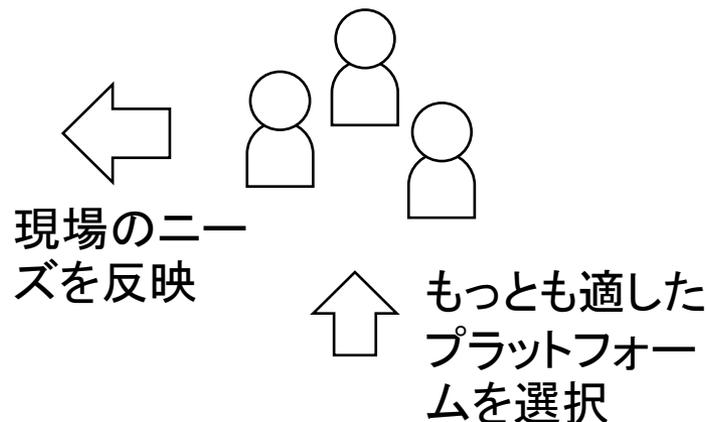
PF01
要件
仕様書

1. スコープ
2. 用語
3. 対象業務要素
4. コンポーネントモデル
5. 接続モデル
6. データモデル
7. テストベツトモデル



プラットフォームWG

ものづくりの現場



PFプロファイル仕様

プラットフォームマー

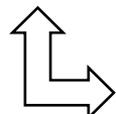
コンポーネントプロファイル

接続プロファイル

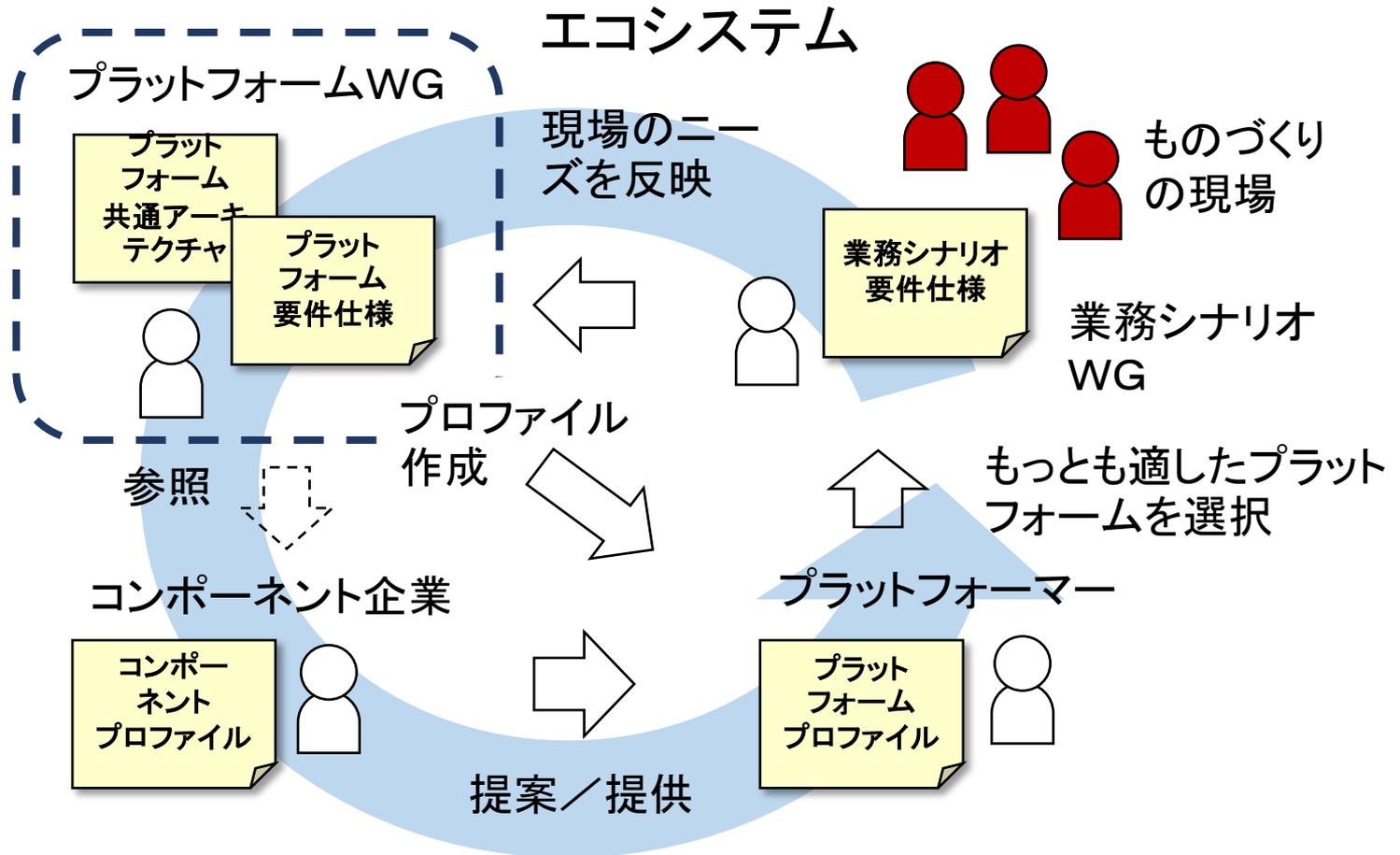
データプロファイル

ビジネスファイル

PF01
プロファイル



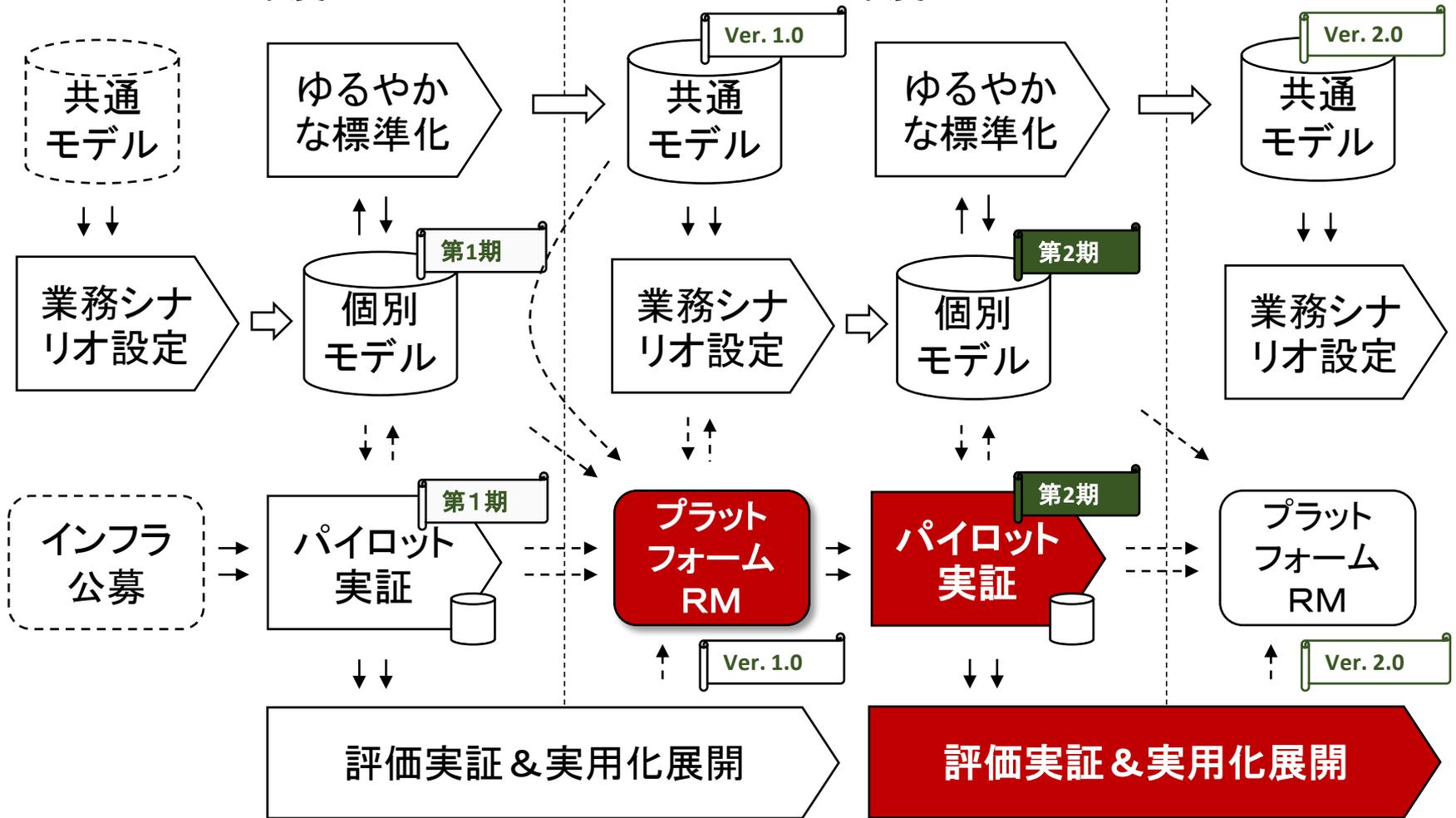
プラットフォームのエコシステム



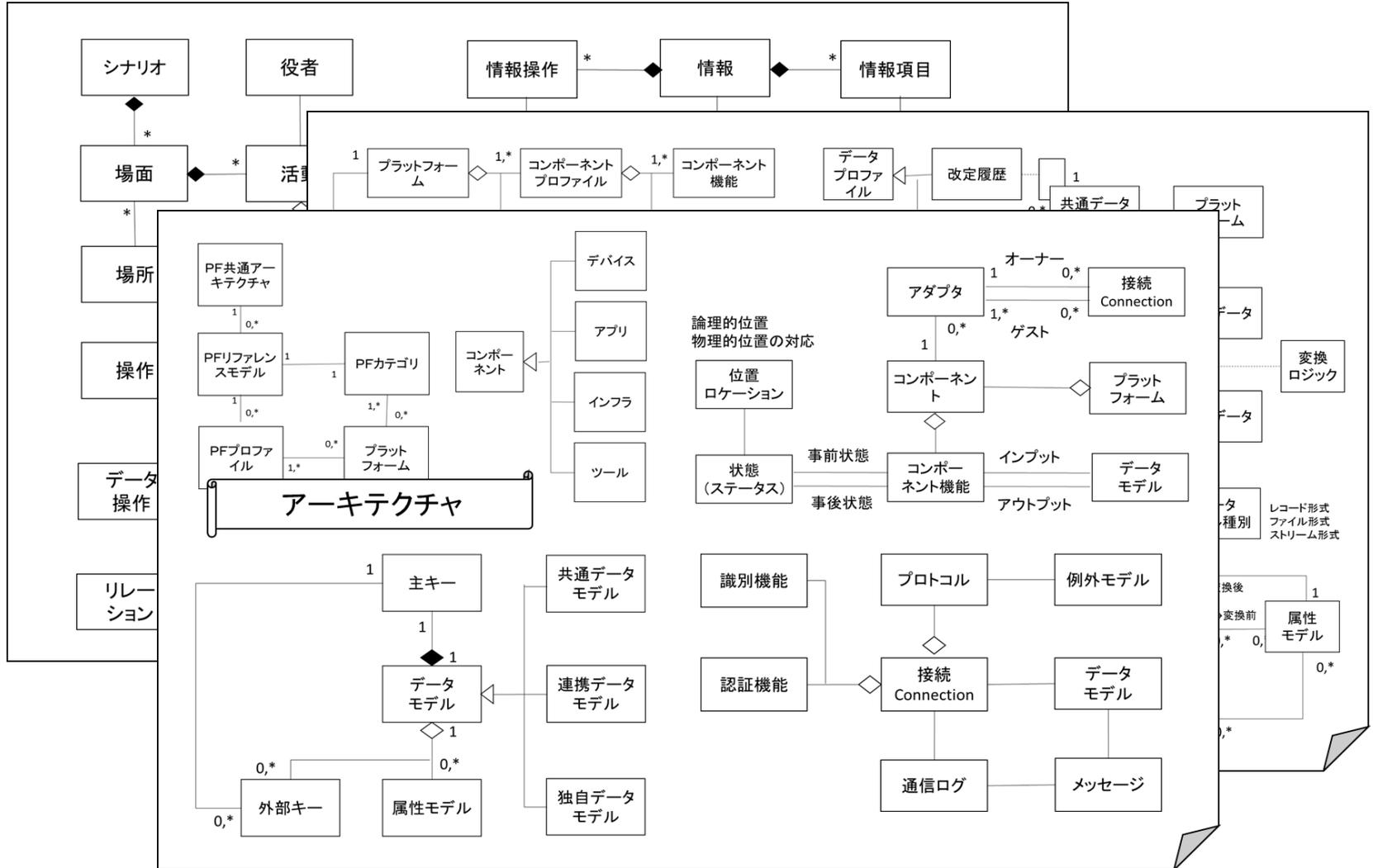
リファレンスモデルとの関係

2015年度

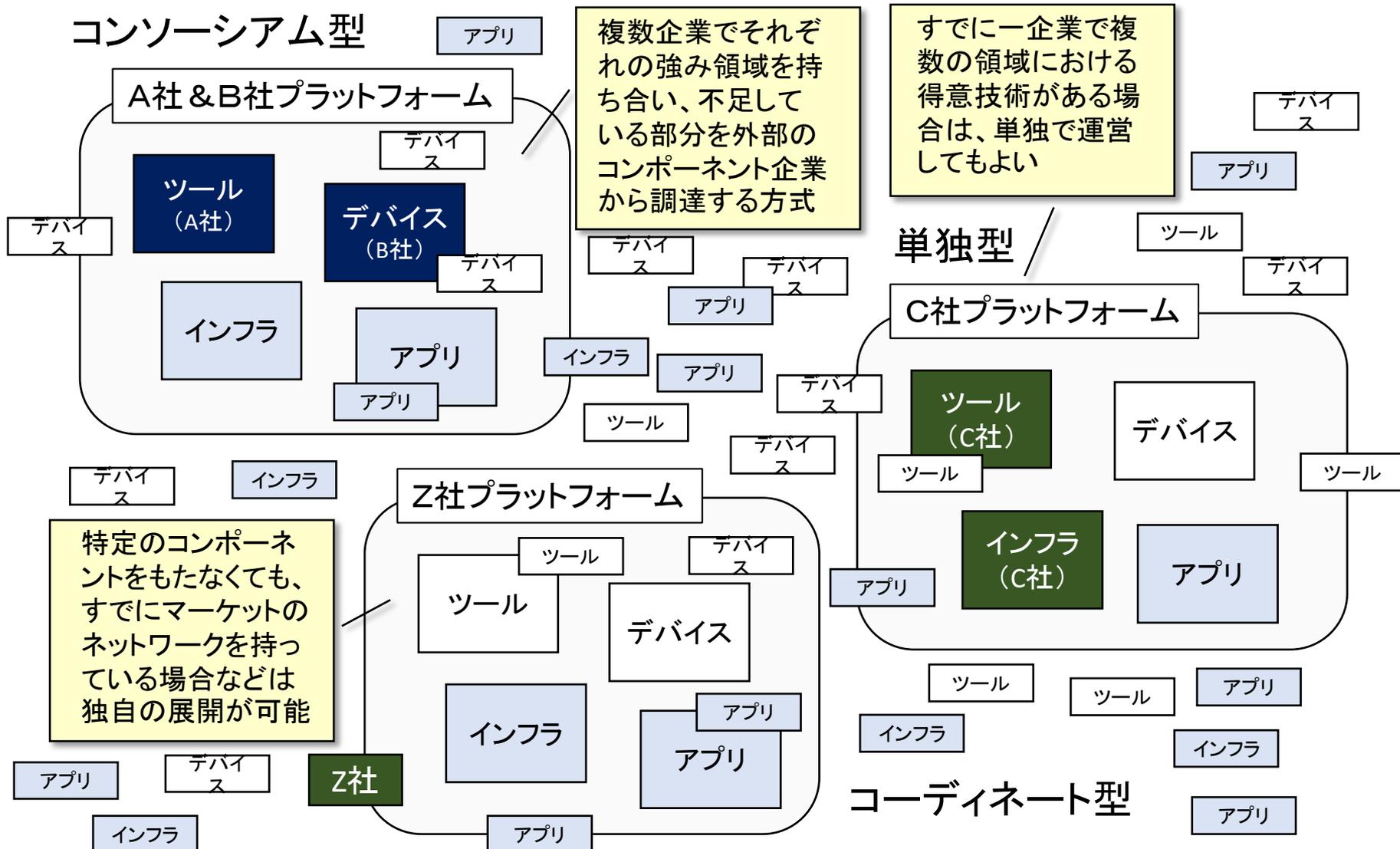
2016年度



標準化による海外との連携



プラットフォームのタイプ(スタートアップ時)



申し込み者の要件

1. IVIの正会員またはサポート会員であること。
2. IVIプラットフォームを事業として管理し運営する能力を有すること。
3. IVI会費とは別に第6条で定めるIVIプラットフォーム協賛費を支払うこと。
4. その他、本規則および関連する規則を遵守すること。

区分と協賛費

プラットフォームの規模	条件
大規模プラットフォーム	資本金10億円以上、または従業員1,000人以上のいずれかを満たす企業および団体およびその子会社
小規模プラットフォーム	上記以外の企業および団体

プラットフォームの区分	説明
単独型プラットフォーム	1つのプラットフォームが管理と運営を行うプラットフォーム
連合型プラットフォーム	複数のプラットフォームが管理と運営を行うプラットフォーム

協賛費	大規模プラットフォーム	小規模プラットフォーム
単独型プラットフォーム	300万円/年	30万円/年
連合型プラットフォーム	100万円/年	10万円/年

プラットフォームの権利

- 独自のプラットフォーム名を、1口あたり1個まで、IVIプラットフォームとして登録することができる。
- IVIが定めたプラットフォームカテゴリの中から、1口当たり最大3つまでエントリーし、そのカテゴリに対応したプラットフォーム評価を受けることができる。
- IVIプラットフォームのロゴを、自社のウェブサイト、パンフレット、説明資料などにおいて、申請したプラットフォーム名とともに表示することができる。
- IVIのプラットフォームカテゴリに対応したプラットフォームとして、IVIのウェブサイトにもその概要を掲載することができる。
- エントリーしたプラットフォームカテゴリに属する業務シナリオの実証実験において、その利用があった場合には、その内容をIVIウェブサイトでも、適用事例として掲載することができる。

プラットフォームの義務

- IVIの業務シナリオWGが行う実証実験プロジェクトでの利用の要望があった場合は、少なくとも1つのプロジェクトに対して、対象期間中のプラットフォームの利用環境について原則として無償で提供すること。
- 提供するIVIプラットフォームを評価するために必要な情報を、IVIからの要請に応じて滞りなく提供すること。
- 提供するIVIプラットフォームを実際に利用しているユーザー企業からのフィードバックについて、IVIが必要と判断した場合は、対応する改善措置を行うこと。
- 第12条で定める内容に基づき知的財産を扱うとともに、開示する情報に、特許などの知的財産権が含まれている場合には、その事実および権利行使に関する基本方針を文書により明示すること。

IVIプラットフォーム(イメージ)

IVIプラットフォーム



カテゴリ1:

設備管理プラットフォーム

[...WGのページへ](#)

対象シナリオ

#106-2n

#128

#117-2

#132

データモデル

#1028 設備稼働データ活用プラットフォーム(〇〇電機、□□製作所、△△システムズ)

#1019 ULTRA-設備管理(△△ソフトウェアソリューション、□通信)

カテゴリ2

生産技術情報プラットフォーム

[...WGのページへ](#)

対象シナリオ

#223

#201

#233-1

データモデル

(プラットフォームは現在登録されていません。)

IVIプラットフォーム(イメージ)

IVIプラットフォーム#1028



設備稼働データ活用プラットフォーム

プラットフォーム(提供): ○○電機、□□製作所、△△システムズ

ユースケース#G2309

役者



業務シナリオ

役者



業務シナリオ

こんな役者がこんなことをやるときに、こんな困ったことがあります、このプラットフォームだと、こんな感じで、こんな風に・・・(続きを読む)

ユースケース#B0074

役者



業務シナリオ

役者



業務シナリオ

こんな役者がこんなことをやるときに、こんな困ったことがあります、このプラットフォームだと、こんな感じで、こんな風に・・・(続きを読む)

事例

自動車業界

登録数5件

事例

エレクトロニクス

登録数31件

事例

電機・重工業

登録数13件

事例

素材、化学

登録数2件

...



IVIプラットフォーム(イメージ)

IVIプラットフォーム#1028

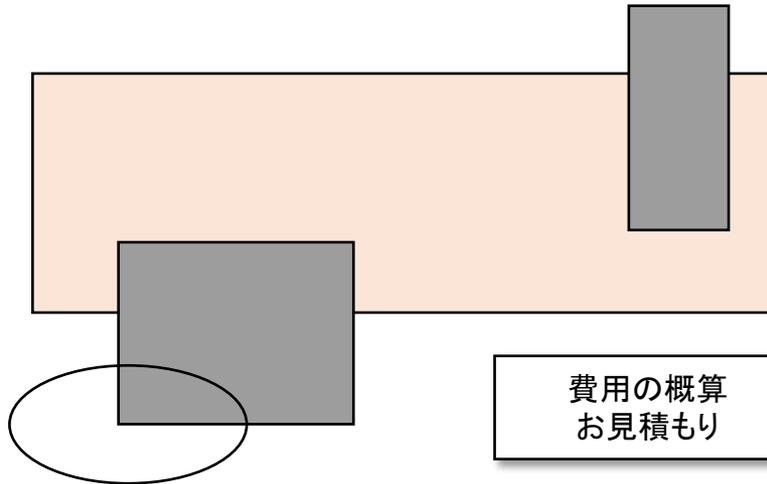


設備稼働データ活用プラットフォーム

プラットフォーム(提供): ○○電機、□□製作所、△△システムズ

システム構成例

構成1 | 構成2 | 構成3



費用の概算
お見積もり

コンポーネント製 品

アプリ:ABCシステム(○○ソフト)
アプリ:NNNMMM(××システム)

デバイス:SSS-012(○○電機)
デバイス:SSS-444(○○電機)
デバイス:PPQQ-9876(○○通信工業)

インフラ:○○サービス(□通信)
インフラ:クラウド××(○○興業)
ツール:GGHHKKシステム(EFGソフト)

IVIプラットフォーム(イメージ)

事例

自動車業界

登録数5件



適用事例名	導入先企業/工場	プラットフォーム	登録日
◆○○における□□の活用	○○自動車	#1028 ...事例を見る	2016/10/22
◆○○なのに□□を実現！	○○自動車	#1028 ...事例を見る	2016/11/11
◆現場の○○が□□となる	○○自動車	#1766 ...事例を見る	2016/11/14
◆当社の○○における事例	○○モーター	#1985 ...事例を見る	2017/2/17
◆○○工場の□□改善結果	○○車体	#1992 ...事例を見る	2017/3/14

よくある質問

◆システムインテグレータとは違うのですが？

一般にシステムインテグレータは、システムを構築するまでがメインのタスクですが、プラットフォームは、システムの運用をサービスとして継続的に支援します。

◆必要なコンポーネントがすべてなくてもいいですか？

プラットフォームは、自社が保有しない部分については、エコシステムとして多くの外部企業が提供するコンポーネントを活用します。

◆プラットフォームの申請は毎年するのですか？

継続的に翌年以降も申請することで、プラットフォームの導入実績や新たなニーズの獲得をし、プラットフォーム自身が進化していくことが可能となります。

◆国際標準など海外との連携はあるのですか？

IVIプラットフォームは、プラットフォーム共通アーキテクチャ、プラットフォームリファレンスモデルなどをベースとし、国際標準とも連携していく予定です。

申し込み方法

申請書に必要事項を記入の上、事務局までFAXまたは郵送してください。

〒103-8548 東京都中央区日本橋小網町14-1 モノづくり日本会議内
一般社団法人インダストリアルバリューチェーンイニシアティブ 事務局
担当: 鎌田正雄

FAX: 03-5644-7209

電子メール office[at]iv-i.org

([at]の部分を@マークに置き換えてください。)

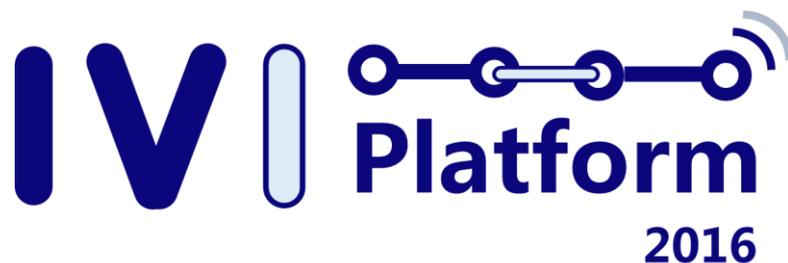
第一次締め切り: 2016年9月30日

第二次締め切り: 2016年10月31日

IVIプラットフォーム

個別の差異を許容し、共通化する部分が段階的に進化

ゆるやかな標準



しなやかなインフラ

システムの成長に合わせて、柔軟にその構成やスケールを変更

したたかな実装

独自技術を隠ぺいし
共通部分のみ大胆にオープン化